

—ISO/IEC 17043に基づく分析技能試験— 第7回放射能分析技能試験：食品（牛肉）

参加試験所の募集

主催 (公社)日本分析化学会

東日本大震災にともなう福島第一原子力発電所事故による放射能(または放射性核種)の環境汚染により、土壌など環境物質や食品中の放射能を精確に定量することが社会的なニーズとなっています。

分析技術向上のために、本会では放射性Csを認証した土壌・大豆・牛肉・しいたけ・魚類の標準物質を開発・頒布してきました。また2015年よりISO/IEC 17043に基づく試験所間比較・技能試験を開始しました。分析の信頼性向上には認証標準物質を使用し、公的な試験方法を用い、試験所内部の品質保証体制を整備することももちろんですが、試験結果を常に他所の試験結果と比較し、その差異を究明して対策を講じる基となる技能試験へ参加することが必要です。参加試験所は配付された試料を期限内に分析して分析結果を本会に報告します。学会は、分析結果の統計処理を行い、皆様の試験所の測定結果を全試験所の中で比較評価した報告書をお届けします。本試験に参加することにより、測定値のかたより、測定傾向や異常をいち早く認識でき、内部品質管理ではできない分析の信頼性向上を図ることができます。なお、技能試験用の試料は、主に標準物質と同系統のものを使用しますが、濃度は認証値とは異なったものを使います。

ISO/IEC 17025による試験所認定を受審される場合は、このような試験所間比較・技能試験を受けていることが必須条件の一つになります。奮ってご参加ください。

日程 受験申込締切：9月24日(金)

技能試験用試料の配付：10月5日(火) 発送予定

分析結果の報告締切：12月17日(金) 必着厳守

中間報告書の発行送付：2022年1月21日(金)

最終報告書の発行送付：2月25日(金)

対象事業所 放射能分析(測定)を業務とする全ての試験所
目的 分析技能の維持向上を図り、分析試験所認定へ向けての試験所の技術レベルを確認するため。

分析試料 牛肉(フレーク状、約50g)1袋

分析成分(核種) Cs-137, Cs-134, K-40(希望成分のみへの参加も可能です。ただし、Cs-134についてはzスコア評価を行いません。)

分析方法 Ge半導体検出器γ線スペクトロメトリーによります。測定は2回実施します。1回目は、送付された袋から必要量をU8容器に充て込んで測定を行います。2回目は、1回目の測定したU8容器から試料を取り出し、再び同一のU8容器に再充てんを行い測定します。

測定は、令和2年改訂放射能測定シリーズNo.7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に基づいて実施してください。

結果報告の内容 参加試験所に対して、ISO/IEC 17043に規定する統計的手法による集計結果とその試験所のzスコアを報告します。2回の測定結果は、試料充てんのばらつきの評価に用いられます。試験所名は番号で表示されますので参加試験所の試験結果が全体のどこに位置するかがわかります。なお、他者に貴試験所の結果が知られることはありません。事務局には守秘義務があるため、試験結果情報が外部に漏れることはありません。参加試験所名の一覧表は掲載しません。ただし、最終報告書の内容は、他機関の要求に応じてその全て又は一部を提供又は掲載することがあります。本会が実施する当技能試験はISO/IEC 17043に従うものであり、試験所認定を受ける際にその旨評価されることが、試験所認定機関{(独)製品評価技術基盤機構及び(公財)日本適合性認定協会}との間で合意されています。

参加料(税別) 日本分析化学会団体会員・会員外共に45,000円(税込価格49,500円, 報告成分数に関わらず一律)※追加試料が必要な場合は、本体価格10,000円/袋(税込価格11,000円)で頒布いたします。

募集受付試験所数 60試験所

受験申込方法 日本分析化学会ホームページ(<https://www.jsac.jp>)より、MENU(上部右)→行事及び事業→技能試験→放射能分析→「2-5放射能分析技能試験」に進み、申込用Excelファイルに必要な事項をご記入のうえ、[ここをクリック](#)を通じてお申込みください。

記入事項：(1)試験所名(参加証に記載する試験所名称にも使用しますので、必要な場合は部署名まで記入)(2)連絡先(氏名、所属、郵便番号、住所、電話、FAX、E-mail)、(3)団体会員・会員外の別(団体会員番号を必ず記入)(4)受験料金額。

※WEB上での申込手続きが困難な場合は、E-mailに添付してお送りください。

送金方法 お申込受付後、受領通知と請求書をお送りしますので、9月27日までに指定口座に参加料をお振込みください(振込手数料は貴方でご負担願います)。なお、受験料の返金はいたしませんので、あらかじめご了承ください。

問合せ先 〒141-0031 東京都品川区西五反田1-26-2 五反田サンハイツ304号(公社)日本分析化学会技能試験事務局〔電話：03-3490-3352, FAX：03-3490-3572, E-mail：pro.test@jsac.or.jp〕

第363回液体クロマトグラフィー研究懇談会

主催 (公社)日本分析化学会液体クロマトグラフィー研究懇談会

1900年代初頭にLCが考案されて以来、今まで、種々の分離モードが考案・開発されてきましたが、逆相クロマトグラフィーは、現在最も広く使用されている分離モードです。本例会では、逆相クロマトグラフィーの使用に当たっての理解を深める目的で、その基礎や分離機構、種々の官能基の特性、分析種に合わせた条件選択のコツ、応用例や最新情報等、幅広くご講演いただきます。

期日 9月28日(火) 13.00~17.30

会場 Zoom オンライン例会

講演主題 逆相クロマトグラフィーの基礎と実際、最新事情
講演

講演主題概説(オーガナイザー)(13.00~13.05)

(東ソー(株))伊藤誠治

(LC分析士五段, LC/MS分析士二段)

1. 教科書に載っていない逆相クロマトグラフィーの基礎(13.05~14.00)(株)クロマニックテクノロジーズ

長江徳和(LC分析士二段)

2. 逆相モードにおけるカラム選択の重要性(14.00~14.30)(日本ウォーターズ(株))島崎裕紀(LC分析士三段, LC/MS分析士二段)

3. ODSカラムの基本特性と分析への応用(14.30~15.00)(ジーエルサイエンス(株))真野菜莉(LC分析士二段)

休憩(15.00~15.10)

4. アジレントの新カラムPoroshell 120 CS-C18の紹介(15.10~15.30)(アジレント・テクノロジー(株))澤田有司(LC分析士初段取得予定)

5. メタルフリーODSカラムを用いた分析のコツ(仮)(15.30~16.00)((一社)化学物質評価研究機構)坂牧寛(LC分析士二段, LC/MS分析士初段)

6. おさえておきたい逆相クロマトグラフィーのカラムと移動相条件(16.00~16.30)

(Restek(株))海老原卓也(LC分析士二段)

7. 生体高分子の分離における逆相クロマトグラフィーの利用 (16.30~17.00) (信和化工(株) 小林宏資 (LC分析士三段, LC/MS分析士初段))
8. 総括「逆相クロマトグラフィーの基礎と実際, 最新事情」 (17.00~17.30) (東京理科大学) 中村 洋 (LC分析士五段, LC/MS分析士五段)

参加費 LC研究懇談会個人会員1,000円, 協賛学会および後援学会(日本分析化学会, 日本薬学会, 日本化学会, 日本農芸化学会)会員3,000円, その他4,000円, 学生1,000円。

参加申込締切日後の受付はできませんので, ご了承ください。

情報交換会 講演終了後, 講師を交えて情報交換会を開催します(会費1,000円)。締切日後のご参加はできませんので, 参加希望者は必ず事前にお申込みください。

参加申込および参加費等納入締切日 9月21日(火)(入金締切時刻:15時まで)

申込方法 参加希望者は, 下記申込先にアクセスし, 氏名, 勤務先(電話番号), LC会員・協賛学会会員・その他の別及び情報交換会参加の有無を明記の上, お申込みください。お申込みが完了した場合には, 登録されたアドレス宛に「第363回液体クロマトグラフィー研究懇談会申込み受付(自動返信)」のメールが届きます。メールが届かない場合は, 世話人までお問い合わせください。

参加費の納入が確認できた方には, 9月22日以降に①例会サイト入場URLと②「視聴者用操作マニュアル」をお送りします。また, 情報交換会参加費納入者には, ③情報交換会サイト入場URLをお知らせいたします。なお, 請求書と領収書の発行はいたしていません。領収書は, 振込時に金融機関が発行する振込票等をもって替えさせていただきます。

申込先 <https://forms.gle/t2Jz5RodmUXJrZuK6>

銀行送金先 りそな銀行五反田支店(普通)0802349, 口座名: シヤ)ニホンブンセキカガクカイ
〔(公社)日本分析化学会・液体クロマトグラフィー研究懇談会〕

問合せ先 (公社)日本分析化学会液体クロマトグラフィー研究懇談会〔世話人: 東ソー(株) 伊藤誠治, E-mail: seiji-ito-pn@tosoh.co.jp〕

入門触媒科学セミナー

主催 (一社)近畿化学協会触媒・表面部会

協賛 (公社)日本分析化学会近畿支部ほか

期日 10月18日(月)・19日(火)

会場 Zoomを利用したオンライン開催

プログラム

第1日(18日)10時~17時

1. 開会挨拶(阪大院工) 森 浩亮
2. 触媒科学の基本概念—これだけは知っておこう— (関西大環境都市工) 三宅孝典
3. 固体表面の酸・塩基点とその触媒機能 (徳島大院創成科学) 山本 孝
4. 金属酸化物触媒—多様な触媒機能の宝庫— (京大院工) 寺村謙太郎

第2日(19日)10時~17時

5. 遷移金属錯体触媒—錯体の基礎と有機合成触媒反応— (奈良女大院自然) 浦 康之
6. 金属ナノ粒子触媒—構造と触媒作用及び設計法— (阪大院基礎工) 満留敬人
7. 触媒調製化学—基礎から最近のナノ構造触媒まで— (阪大院工) 森 浩亮
8. 閉会挨拶(阪大院工) 森 浩亮

参加費・申込方法 詳細は<https://kinka.or.jp/catalytic/>をご参照ください。

申込締切 9月24日(金)

申込・問合せ先 〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 近畿化学協会触媒・表面部会〔電話:06-6441-5531, FAX:06-6443-6685, E-mail: catal@kinka.or.jp〕

2021年度関東支部「新世紀賞」・「新世紀新人賞」候補者募集

関東支部では2000年より新世紀賞・新世紀新人賞を設け, 表彰を行っています。適当な候補者がおられましたら, ご推薦の程お願いいたします。

新世紀賞資格 ①2021年4月1日現在で満36歳以上満45歳以下の者で関東支部所属の正会員。②研究業績は, 本会論文誌又はその他の論文誌に公表されたものでなければならない。③受賞の基礎となる研究業績が共同研究の場合は, 主たる研究者について適用する。④候補者となるべきものは会員の推薦によるものとする(自薦を含む)。⑤ただし, 日本分析化学会奨励賞受賞者は除く。

新世紀新人賞資格 ①2021年4月1日現在で満35歳以下の関東支部所属の正会員。②研究業績は, 本会論文誌又はその他の論文誌に公表されたものでなければならない。③受賞の基礎となる研究業績が共同研究の場合は, 主たる研究者について適用する。④候補者となるべきものは会員の推薦によるものとする(自薦を含む)。⑤ただし, 日本分析化学会奨励賞受賞者は除く。

提出書類

新世紀賞 ①推薦書(関東支部HP(<https://kanto.jsac.jp/award/>)よりダウンロード), ②推薦理由書(A4判を縦(1行45字×40行)に使用し, 本文及び文献リスト(主要論文等)を合わせて3ページ以内で作成すること), ③添付資料(特に重要な論文の別刷, その他審査の参考となる資料)

新世紀新人賞 ①推薦書(関東支部HP(同上)よりダウンロード), ②推薦理由書(A4判を縦(1行45字×40行)に使用し, 本文及び文献リスト(主要論文等)を合わせて3ページ以内で作成すること), ③添付資料(特に重要な論文・特許等の写し, 3編以内)

提出方法 上記書類を電子ファイルとし, 推薦者より書類提出先記載のE-mailアドレス宛送信(cc:候補者)のごこと(ただし自薦の場合は候補者より送信。いずれも押印不要)。①, ②についてはそれぞれ1件のファイルとすること。③については複数のファイル送付も可とするが, 必要最小限とすること(いずれもPDFファイルを推奨)。なお, 事務局にてメールおよびファイルを受信後, 受領通知が送信されるので, 確認の上, 受領通知のメールは保管のこと。送信後1週間以内に受領通知が届かない場合は書類提出先アドレスに必ず問い合わせのこと。

締切日 10月29日(金) 必着

書類提出先 日本分析化学会関東支部事務局〔E-mail: kanto@jsac.or.jp〕

第36回元素分析技術研究会

主催 元素分析技術研究会

共催 有機微量分析研究懇談会

本会は, 元素分析における測定技術の向上を目的とした情報交換を行っております。ベテランの方から, 元素分析を始めたばかりの初心者の方まで, 気軽に参加していただけるよう, 世話人一同鋭意準備中ですので, ご多忙中とは存じますが, 奮ってご参加ください。

期日 11月19日(金) 10.00~16.00

会場 オンライン開催

お知らせ

プログラム

- 10.00～10.10 開会のあいさつ
10.10～11.00 元素分析に関する Q&A
11.00～12.00 グループディスカッション CHN
～お昼休憩～
13.00～14.00 グループディスカッション SX
～休憩～
14.10～15.40 元素分析熟練者を囲む座談会
15.40～16.00 会計報告、次期世話人紹介
閉会の挨拶

参加費 要旨集代として 2,000 円

連絡先 〒001-0021 北海道札幌市北区北 21 条西 11 丁目
シオノギ創薬イノベーションセンター内 北海道大学創成研
究機構グローバルファシリティセンター 機器分析受託部門
技術専門職員 武田希美〔電話：011-706-9183, E-mail:
ntakeda@gfc.hokudai.ac.jp〕

イルをお送り下さい。〔<https://kanto.jsac.jp/2022ibaraki-touron/>〕

申込〆切 9月30日(木)

申込先 第82回分析化学討論会実行委員会〔E-mail: ml-82touron2022@qst.go.jp〕

長野地区講演会

主催 (公社)日本分析化学会中部支部

期日 9月30日(木) 13.30～17.00

開催方法 オンライン開催(基地局:信州大学理学部)

プログラム

- 13.30～13.35 開会式
13.35～14.35 「カーボンナノチューブに吸着したマルチ銅
酵素による酸素触媒還元反応」
富永昌人(佐賀大)
14.40～15.40 「先端危機管理・科学捜査」
瀬戸康雄(理化学研)
15.45～16.45 「ポリオキソメタレートの分析化学的研究」
上田忠治(高知大)

参加費 無料

その他 オンライン配信ツールは「Zoom」を利用します。講演会当日の聴講方法について、長野地区の方には9月上旬頃にメールにてお知らせします。長野地区以外の方で聴講ご希望の方は、下記担当までお問い合わせください。なお、事前に接続テストの実施を予定しています。

申込・問合せ先 〒390-8621 長野県松本市旭 3-1-1 信州大学理学部化学コース 金 継業〔電話:0263-37-2475, E-mail: jin@shinshu-u.ac.jp〕

第82回分析化学討論会

主題討論題目およびオーガナイザー募集

第82回分析化学討論会(茨城大学水戸キャンパス,水戸市)を2022年5月14日(土),15日(日)に開催の予定です。本討論会では,これまでの討論会と同様に分析化学に関する学術研究・技術開発・普及促進等様々な場面でご活躍の皆様から,主題題目とそのオーガナイザーを広く募集したいと思います。奮ってご応募いただき,討論会での充実した議論につなげることができればと考えています。特に産業界の皆様からの積極的なご提案も歓迎しております。応募を希望される方々は,下記要領に従い,実行委員会までお申し込み下さい。なお,採否および運営につきましては実行委員会にご一任いただければ幸いです。詳細および申込フォームにつきましては下記HPをご参照下さい。

第82回分析化学討論会実行委員長
山本博之

記

申込方法 学会HP内の下記サイトより申込フォームをダウンロードの上,以下の実行委員会メールアドレス宛て電子ファ

——以下の各件は本会が共催・協賛・
後援等をする行事です——

◎詳細は主催者のホームページ等でご確認ください。

第 62 回顔料入門講座

主催 顔料技術研究会
期日 8月26日(木)・27日(金), 9月2日(木)・3日(金)
会場 オンライン開催
ホームページ <http://www.shikizai.org/>
連絡先 〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿 3-12-8 東京塗料
会館 201 号室 (一社)色材協会 顔料入門講座事務局〔電
話: 03-3443-2811, FAX: 03-3443-3699, E-mail: info
@jscm.or.jp〕

2021 年度一般社団法人日本地球化学会 第 68 回年会

主催 (一社)日本地球化学会
期日 9月1日(水)~21日(火)
会場 オンライン会場および弘前大会場のハイブリッド開催
ホームページ
<http://www.geochem.jp/meeting/index.html>
連絡先 東京大学大学院理学系研究科 地球惑星科学専攻 飯
塚 毅〔E-mail: affairs@geochem.jp〕

第 24 回 XAFS 討論会

主催 日本 XAFS 研究会
期日 9月1日(水)~3日(金)
会場 オンライン開催
ホームページ
<https://www.jxafs.org/conference/jxafs24/>
連絡先 第 24 回 XAFS 討論会実行委員会〔E-mail: JXAFS24
@gmail.com〕

第 9 回対称性・群論トレーニングコース

主催 高エネルギー加速器研究機構
期日 9月13日(月)~17日(金)
会場 高エネルギー加速器研究機構つくばキャンパス
ホームページ
<http://pfwww.kek.jp/trainingcourse/9th/>
連絡先 対称性・群論トレーニングコース事務局 高橋良美
〔E-mail: tyoshimi@post.kek.jp〕

第 33 回イオン交換セミナー 「リチウムに関連したイオン交換技術」

主催 日本イオン交換学会
期日 9月13日(月)
会場 オンライン開催
ホームページ <http://www.jaie.gr.jp/>
連絡先 金沢工業大学バイオ・化学部 応用化学科 大嶋俊一
〔電話: 076-274-9266, E-mail: s.oshima@neptune.
kanazawa-it.ac.jp〕

SPring-8 シンポジウム 2021 ~SPring-8 将来像からのバックキャストイング~

主催 SPring-8 ユーザー協同体 (SPRUC), (公財)高輝度
光科学研究センター, 理化学研究所放射光科学研究
センター
期日 9月17日(金)・18日(土)
会場 オンライン開催
ホームページ <http://www.spring8.or.jp/>
連絡先 〒679-5198 兵庫県佐用郡佐用町光都 1-1-1 SPri
ng-8 シンポジウム 2021 事務局〔電話: 0791-58-2785,
FAX: 0791-58-2786, E-mail: sp8sympo2021@spring8.
or.jp〕

日本放射化学会第 65 回討論会 (2021)

主催 日本放射化学会
期日 9月22日(水)~24日(金)
会場 オンライン開催
ホームページ
<http://www.radiochem.org/event/forum.html>
連絡先 日本放射化学会〔E-mail: sorc2021-office@
radiochem.org〕

連合年会 2021 (第 35 回日本イオン交換研究 発表会・第 40 回溶媒抽出討論会)

主催 日本イオン交換学会, 日本溶媒抽出学会
期日 10月21日(木)・22日(金)
会場 西日本総合展示場
ホームページ <http://www.jaie.gr.jp/>
連絡先 〒808-0135 福岡県北九州市若松区ひびきの 1-1 北
九州市立大学国際環境工学部 分離工学研究室 連合学会
2021 実行委員長〔電話: 093-695-3281, E-mail: yoshizuka
@kitakyu-u.ac.jp〕

電子機器トータルソリューション展 2021

主催 (一社)日本電子回路工業会
期日 10月27日(水)~29日(金)
会場 東京ビッグサイト南展示棟
ホームページ
<http://www.jpccashow.com/show2021/>
連絡先 〒105-8335 東京都港区芝 3-23-1 セレスティン芝
三井ビルディング (株)JTB コミュニケーションデザイン内
JPCA 運営事務局〔電話: 03-5657-0767, E-mail:
jpcashow@jtbcom.co.jp〕

日本希土類学会第 39 回講演会

主催 日本希土類学会
期日 11月10日(水)
会場 崎陽軒本店会議室
ホームページ <http://www.kidorui.org/lecture.html>
連絡先 〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-1 大阪大学大
学院工学研究科 応用化学専攻内 日本希土類学会事務局〔電
話: 06-6879-7352, FAX: 06-6879-7354, E-mail:
kidorui@chem.eng.osaka-u.ac.jp〕

「分析化学」 年間特集 “省” の論文募集

「分析化学」編集委員会

「分析化学」では2010年より「年間特集」を企画しており、2022年度は「省」をテーマとすることと致しました。

世界の総人口は現在約78億人となり、人々が健康で豊かに暮らしていくためには、限られた資源を有効に活用することが不可欠です。また、誰もが高度な科学技術や医療技術の恩恵を受けられるよう工夫することは、持続可能な開発の理念に資する、転じて我が国の近現代史を顧みますと、少ない資源の元での効率の良い技術開発はお家芸と表現しても過言ではなく、分析化学の分野においても、新しい分析方法・技術の開発や改良を通して、複雑化・多様化した現代社会に大きく貢献しているところです。本特集では「省」をキーワードとして分析化学における基礎・応用を含めて幅広い観点で見渡し、分析化学が担う役割を社会に向けて発信することを目的としています。国内外、産学官を問わず、「省」に関わる分析化学の研究・開発に従事されている多くの皆様方からの投稿をお待ちしておりますので、是非この機会をご活用ください。なお、詳細は「分析化学」誌の4・5号及びホームページをご参照ください。

「分析化学討論会」特集の論文募集

「分析化学」編集委員会

「分析化学」誌では、毎年第12号に分析化学討論会特集号を企画しており、分析化学討論会の討論主題に関連した論文を掲載してきました。2021年度の分析化学討論会特集号では、「活力ある分析化学～持続と発展～」をテーマとしました。

2015年に国連サミットにおいて、持続可能な開発目標SDGs 17が掲げられました。一方で、現在、我々は新型コロナウイルス(COVID-19)のパンデミックに直面しています。また、本年は東日本大震災発生後10年にあたりますが、廃炉問題も含め、復興も道半ばの状況です。分析化学は、測る技術であると共に、数多くのデータの中から、原因を究明すると共に、問題解決の糸口を見出すことが可能な学問であり、課題克服に果たす役割は大きいものと期待されます。

このような現状に鑑み、人類の持続と発展に貢献することを目指した、分析化学における新しい方法論の提案や応用例を取り扱った論文を広く募集いたします。分析化学討論会にて発表を予定されている方々、ならびに本特集号のテーマに関わる研究をなされている方々からのご投稿をお待ちしております。

「分析化学」編集委員会特集
“分離分析の進展”の論文募集

「分析化学」編集委員会

「分析化学」誌では、毎年第6号に「編集委員会特集」として特集号を企画しています。2022年度(第71巻)の「編集委員会特集」のテーマは、『高感度解析に寄与する分離分析技術』に決定いたしました。分析技術は種々の分野における基盤技術であり、新たなサイエンスを切り拓く原動力として重要な役割を果たしてきました。近年、質量分析装置の発展は目覚ましく、各分析機器メーカーから販売されている装置を購入すれば高感度かつ精密に、その質量を測定することが可能となっています。また、操作性、利便性、迅速性も格段に向上しており、もはや検出器として質量分析装置を用いることがスタンダードとなりつつあります。質量分析装置と同様に各検出器の感度も飛躍的に上昇していることを鑑みると、質量分析装置を含めた、これら最新の検出器に目的とする分析対象物をいかにして高純度に届けるかが課題として挙げられます。

上記状況に鑑み、本特集では、高感度解析に寄与する分離分析技術と題し、クロマトグラフィーや電気泳動などの分離分析を対象とした研究に着目することとしました。新たなサイエンスを切り拓くための分離技術、新素材での新しい分離様式およびその応用に関する論文の投稿をお待ちしております。また、「若手研究者の初論文特集」への応募資格を満たしている方は、本特集論文と兼ねて投稿していただくこともできますので、若手の研究者の皆様のご投稿もお待ちしております。

詳細は「分析化学」誌の6号及びホームページを参照ください。なお、投稿申込締切日は10月1日(金)、原稿締切日は12月3日(金)です。

「分析化学」の掲載料についてのお知らせ

「分析化学」誌では、2020年4月より論文掲載料を以下の計算式にしたがってお支払いいただき、pdfファイルを進呈することになりました。なお、論文の別刷を希望される場合は、別途別刷頒布料金をお支払いいただくことにより購入することができます。

掲載料金計算式(P:印刷ページ数)(単位:円)

会員の場合: $30,000 + 5,000 \times (P - 4)$ (印刷ページ数が14ページ以上は一律80,000円)

会員外の場合: $40,000 + 5,000 \times (P - 4)$ (印刷ページ数が14ページ以上は一律90,000円)

*上記に消費税がかかります。

「Analytical Sciences」別刷頒布価格のお知らせ

「Analytical Sciences」掲載の投稿論文の別刷頒布価格は下記のとおりです。

1. 頒布部数: 50部を最小単位とし、以降50部単位で頒布します。
2. 価格: 次の計算式に従って算出された値(円)。
 $20000 + 2500 \times p + 25 \times p \times (n - 50)$
但し、 p は掲載論文の印刷ページ数で、奇数の場合には1を加えた値、 n は別刷希望部数。
3. 消費税10%がかかりますので、ご了承ください。

「分析化学」特集 “分析試薬の可能性を探る”
の論文募集

「分析化学」編集委員会

「分析化学」編集委員会は、分析試薬研究懇談会と共同で「分析試薬の可能性を探る」と題した特集を企画しました。分析試薬は、あらゆる分析化学の方法論にとって、その能力を引き出すための必須の存在です。これまでに、例えばクロマトグラフィーや溶媒抽出における対象物質の検出、分離用試薬を始め、様々な試薬が分析化学を支えてきました。現在では、生命科学から環境分野まで、ありとあらゆる分析化学が関わる対象で、多彩な試薬がこれを支えています。今後、SDGsに代表される新しい社会に必須の研究と技術の発展に伴う新たな分析対象の広がりと共に、分析試薬もまた、従来とは次元が異なる発展を見せようとしています。このような背景に鑑み、本特集号では新規な分析試薬の開発はもとより、分析試薬を用いる新規な分析手法、試料の調製法、得られる情報の処理などに関する工夫や様々な応用例に関する論文の投稿をお待ちしています。詳細は「分析化学」誌ホームページをご参照ください。

特集論文申込締切: 2021年9月17日(金)

特集論文原稿締切: 2021年10月22日(金)

日本分析化学会第70年会

—参加予約申込—

主催 (公社) 日本分析化学会
標記年会は、下記のように開催します。本年会に参加される方は、全員参加登録をしていただきます。オンライン参加予約登録はお支払方法により締切日が異なりますのでご注意ください。詳細は年会ホームページ(以下、年会HPと略)を参照ください。

会期 2021年9月22日(水)～24日(金)

会場 Webを利用したオンライン開催

オンライン交流会 年会全日程終了後の9月24日(金) 18時～20時(予定)。第2日(23日)ではありませんのでご注意ください。

【Web版講演要旨集の閲覧方法】

- ・本年会へ参加登録をされた皆様は、9月8日以降、参加登録番号と参加申込に使用されたメールアドレスで閲覧・ダウンロードができます。
- ・10月25日(月)14時まで閲覧・ダウンロードが可能です。以降は閲覧できません。
- ・スマートフォン等の機種では正しく表示されない場合があります。ご了承ください。

【参加予約申込締切日】

※お支払方法により締切日が異なります。

郵便振替 Web 申込締切: 8月23日(月)14時厳守

郵便振替 払込締切: 8月27日(金)

コンビニ決済 Web 申込締切: 8月27日(金)14時厳守

コンビニ決済最終入金締切: 8月31日(火)

クレジット決済 Web 申込締切: 8月31日(火)14時厳守

【参加登録料】

予約登録: 会員 9,000 円, 学生会員 3,000 円, 会員外 16,000 円, 会員外学生 5,000 円

(ご注意)

- ・オンライン交流会(懇親会)は、参加登録者のみ参加できます。参加費は無料です。
- ・会員には団体会員(維持会員)に所属する方を含みますが、特別会員及び公益会員の場合は、1名に限り会員扱いとなります。
- ・会員の方の参加登録料は不課税扱いです。会員外、会員外学生は税込金額です。
- ・予約登録締切後の予約外登録はクレジット決済 Web 申込のみで9月21日(火)14時まで受け付けます。
予約外参加登録料: 会員 12,000 円, 学生会員 4,500 円, 会員外 18,000 円, 会員外学生 6,000 円

【年会参加登録費用の領収書発行】

参加登録費用の領収書については、PDFによる発行となります。決済完了後に申込システムより取得いただけます。

【各種お問い合わせ先】

1. 学会事務局

会員登録情報の変更, 会員ID・パスワード及び年会全般に関する質問

公益社団法人日本分析化学会事務局

〒141-0031 東京都品川区西五反田1-26-2

五反田サンハイツ304

E-mail: online@jsac.or.jp

電話: 03-3490-3351 (夜間, 土日, 祝日を除く)

2. 年会ヘルプデスク

講演申込などWebシステム, 参加費納入に関する質問

第70年会ヘルプデスク

〒162-0801 東京都新宿区山吹町358-5

榊国際文献社内

E-mail: jsac-desk@bunken.co.jp

電話: 03-6824-9368

注) 電話対応時間は土日, 祝日を除く営業日の9時～12時, 13時～17時です。

3. 実行委員会

オンライン講演, プログラムに関する質問

第70年会実行委員会事務局

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1

神戸大学環境保全推進センター内

事務局長 牧 秀志

E-mail: maki@kobe-u.ac.jp